

  
CANCER SUPPORT  
COMMUNITY  
JAPAN

  
PANCREATIC CANCER  
ACTION NETWORK®  
NPO法人パンキャンジャパン  
すい臓がんアクションネットワーク

  
核医学診療推進 国民会議

がんの  
治る日は  
近いか!?

個別化医療の現実

第16回 ペイシェント・アクティブ・フォーラム

2018年9月2日[日]

[時間] 13:30~17:00 [会場] よみうり大手町ホール

- 主催：認定特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー
- 共催：特定非営利活動法人パンキャンジャパン / 核医学診療推進国民会議
- 後援：厚生労働省 / 東京都 / 東京都医師会 / 日本対がん協会 / 日本アイソトープ協会  
日本核医学会 / NHK / 読売新聞社 / 朝日新聞社 / 産経新聞社
- 協賛：第一三共株式会社 / バイエル薬品株式会社 / 富士フイルムRIファーマ株式会社  
日本イーライリリー株式会社 / 株式会社S・S・I

16<sup>th</sup>  
Patient active forum  
Program

サイエンスが進歩し続けるのは、  
考え続ける人がいるから。  
わかったこと。わからないこと。  
その果てなき積み重ねで、答えに近づいていく。  
がんや血栓の治療薬も、例外ではありません。  
第一三共が積み重ねてきた知恵に、  
新しい切り口を日々加えていく。  
そうして生まれるイノベーションの先に、  
希望という名のゴールがあると信じて。



イノベーションに情熱を。  
ひとに思いやりを。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社

# 第16回 ペイシエント・アクティブ・フォーラム 開催にあたって



認定特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

理事長 渥美隆之

Takayuki Atsumi

個別化医療とは、患者の遺伝的背景・生理的状态・疾患の状態をバイオマーカーによって把握し、患者個々に最適な治療法を設定しようとする医療です。その目的は「治療の最適化」と「疾患の予防・予後予測」に大別されます。2003年のヒトゲノムプロジェクト完了を契機とした生命科学の著しい進展により、薬物治療において個人の持つゲノム情報等に基づき患者個々に対する医薬品の効果を最大限に高め、副作用を最小限に抑えるゲノム情報等を利用した個別化医療が現実のものになりつつあります。さらに、最先端のゲノム解析技術と人工知能を用いた「プレジジョン医療(precision medicine)」の確立への期待が高まっています。

一方、アイソトープを用いて治療への反応を個々の患者について検査し、検査結果に基づいて個々の患者に最適な治療を選択する「核医学診療(nuclear medicine theranostics)」は、がん治療の放射線科領域における個別化医療への展開として期待されています。ちなみに、theranosticsは、therapy(治療)とdiagnostics(診断)から合成した用語で、今日では「核医学診断に用いるアイソトープを治療目的にも活用すること」を意味する用語として使用されています。

そこで、第16回ペイシエント・アクティブ・フォーラムでは、難治性がんである膵臓がん患者の支援に取り組む認定特定非営利活動法人パンキャンジャパンと、全てのがんを発見できるわけではありませんが、早期発見に有効と考えら

れているPET検査、甲状腺がんに対する放射性ヨウ素や去勢抵抗性前立腺がん骨転移に効果を発揮する塩化ラジウムといったRI内用療法の推進を目的に設立された核医学診療推進国民会議との共催することになりました。そして個別化医療に焦点を当て、「プレジジョン医療(precision medicine)」の確立に取り組む中村祐輔氏、「核医学診療(nuclear medicine theranostics)」の推進に取り組む絹谷清剛氏を招いて、それぞれの取り組みについて基調講演いただきます。基調講演に続くパネルディスカッションでは妹さんの膵臓がん体験を契機に米国ロサンゼルスに本部を置く膵臓がん患者支援団体Pancreatic Cancer Action Networkの日本支部として認定特定非営利活動法人パンキャンジャパンを設立され、その後、自らも膵臓がんを体験された眞島喜幸氏、支援団体として先駆的に取り組んできた弊法人から大井賢一にも登壇いただき、来場者と共に個別化医療によるがん医療の未来について考える場したいと思います。最後になりましたが、主催・共催を代表しまして本フォーラムを開催するに当たり、ご理解ならびにご協力いただきました後援団体・協賛企業の皆さま、講演をお引き受けいただいた中村祐輔氏、絹谷清剛氏はもとより、企画運営にご協力いただきました関係者各位、そして本フォーラムを支えてくださったスタッフの皆さんに心より感謝申し上げます。

## 認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)とは?

NPO法人への寄付を促すことにより、NPO法人の活動を支援するために寄付した個人又は法人に対する税制上の優遇措置として設けられた制度です。以前は国税庁長官が認定を行う制度でしたが、平成23年法改正により平成24年4月1日から所轄庁が認定を行う新たな認定制度として創設されました。NPO法人は、全国に約5万法人認証されており、そのうち認定NPO法人の割合は2%に満たない状況です。がんサポートコミュニティーは、平成29年9月1日に認定NPO法人(29生都管第666号)として認定いただきました。

## タイムスケジュール

- 13:30 ● **開会あいさつ**  
渥美隆之 がんサポートコミュニティ理事長
- 13:40 ● **[ 基調講演1 ]**  
**プレジジョン医療：がん患者の人生の質向上に向けて**  
中村祐輔  
公益財団法人がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター所長
- 14:30 ● **[ 基調講演2 ]**  
**核医学ってなに？ がん診療における役割**  
絹谷清剛  
金沢大学医薬保健研究域医学系核医学教授 / 核医学診療推進国民会議会長
- 15:20 ● **がんサポートコミュニティの活動紹介**  
遠藤公久 がんサポートコミュニティ副理事長
- 15:35 ● **休憩**
- 15:55 ● **パネルディスカッション**  
[ パネリスト ]  
中村祐輔・絹谷清剛  
眞島喜幸 特定非営利活動法人パンキャンジャパン理事長  
大井賢一 がんサポートコミュニティ事務局長  
[ コーディネーター ]  
渥美隆之
- 16:55 ● **閉会あいさつ**  
大井賢一  
[ 司会進行 ] 遠田恵子 フリーアナウンサー

### 展示ブース出展病院 & 企業

東京都立駒込病院 / 東京都立墨東病院 / NTT東日本関東病院 / JCHO東京新宿メディカルセンター / 東京都済生会中央病院 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院 / 帝京大学医学部附属病院 / 日本大学医学部附属板橋病院 / 杏林大学医学部附属病院 / 日本赤十字社医療センター / 三井記念病院 / 東京大学医学部附属病院 / 東京医科歯科大学医学部附属病院 / 公益財団法人日本対がん協会 / 一般社団法人日本核医学会・公益社団法人日本アイソトープ協会 / 特定非営利活動法人サクセスこども総合基金 / 認定NPO法人キャンサーネットジャパン / 特定非営利活動法人パンキャンジャパン / バイエル薬品株式会社 / 資生堂ライフクオリティビューティーセンター / 株式会社S・S・I / がん予防滞在型リトリート・リポーン洞戸 / 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター

# プレジジョン医療 がん患者の人生の質向上に向けて



中村 祐輔

Yusuke Nakamura

公益財団法人がん研究会  
がんプレジジョン医療研究センター所長

日本人の二人にひとりのがんに罹患し、年間約35万人ががんで亡くなっている。がんは1981年に日本人の死因の第1位となって以降、40年近く死因の1位の座を譲っていない。かつてのように「がん＝死」という状況ではなく、治すことのできる病気になりつつあるが、年間30万人以上ががんで命を落としているのが現実である。がんを治癒させる最善の方法は、早く見つけることである。現に、多くのがんでは早期であるほど5年生存率は80-100%と高く、ステージ4で見つかった場合には、(一部のがんを除き)5年生存率は20%を切る厳しい数字となっている。これらのデータは、がんの検診率を高める、あるいは、もっと簡便ながんスクリーニング法を開発し、できる限り早い段階でがんを見つければ、がんの治癒率を高めるために重要であることを示している。しかし、胆管系のがん、肝臓がん、膵臓がんなどは、ステージ2で診断されて治療を受けても、5年生存率は20%あるいはそれを下回る数字となっている。これらのがんに対しては、有効な治療薬・治療法の開発と共に、早期であっても、がん細胞が全身に広がっていることを前提にした治療体系の変革が必要である。

オバマ前米国大統領は2015年一般教書で「プレジジョン医療」を大きな目標に掲げた。そして、「プレジジョン医療」を「必要な治療法を、必要であればいつでも、それを必要としている人に提供する医療」と定義しているが、私が20年以上前から提唱してきた「オーダーメイド医療」と同じ精神である。「がんプレジジョン医療」のキー

ワードは、ゲノム解析法を応用したリキッドバイオプシー、がんの遺伝子解析に基づく薬剤の選択、そして、全エクソン解析情報を利用した新しいタイプの免疫療法であると考えている。ゲノム解析技術の進歩に伴って、技術的・コスト的、そして臨床的にも極めて重要で、現実的になってきた技術が、「がん細胞の存在を遺伝子異常を手懸りに、リキッド(血液・唾液・尿などの液体)を利用して見つける、リキッドバイオプシー」である。血液の液体成分である血漿中には、微量のDNA(cfDNA=cell free DNA)が含まれている。がん細胞由来のDNAも、ごくわずかではあるが、この中に含まれることが明らかとなり、がんのスクリーニングやがん再発の超早期発見への応用が始まっている。手術可能な段階でも、約70-80%のがんが血液を利用して発見可能であることが示されている。卵巣がんや膵臓がんなどでも検出率が高く、早期発見につながる期待されている。また、CT検査やMRI検査でがん再発が見つかる6~9か月前に、血漿DNA検査でがん由来DNAを捉えることができることも報告されている。この時点で、治療を開始すれば治癒率を上げることができるのではなかろうか。また、がんのゲノム解析を通して明らかにされた遺伝子変異を利用した新しいタイプの免疫治療(ネオアンチゲン療法やT細胞受容体導入T細胞療法)の検証が急速に進んでいる。

もはや、がん治療は患者さんの延命を目標とするものではなく、がんの治癒を目指すものとなってきた。ゲノム情報を利用したゲノム医療は、早期発見・早期治療・適切な治療・副作用の少ない治療につながり、がん患者さんの生活の質・人生の質を高めると共に、がん医療費の増加抑制につながる事が確実である。ただし、これらの実現には、患者さんたちの参画が不可欠である。国が何かしてくれることに期待するのではなく、患者さんや家族が国民を巻き込んで、新しいがん医療を手に入れるために大きな運動を起こしていくことを切に願っている。

## 核医学ってなに？ がん診療における役割



絹谷 清剛

SEIGO KINUYA

金沢大学医薬保健研究域医学系核医学教授  
核医学診療推進国民会議会長

みなさんは核医学という言葉をご存じでしょうか？ご存じないですか？それでは、PET(ペット)という言葉はいかがでしょうか？

現在、がんの診療にはPETが欠かせないものになっています。PETは、お砂糖(ブドウ糖)に放射線を出す目印(放射能)をつけたもので、がんを光らせてがんの場所や状態を診断する放射線診断のひとつです。私たちの体の細胞はブドウ糖をエネルギーとして使っています。がん細胞は大きくなったり、周りを壊したりするのにエネルギーをたくさん使いますので、正常な臓器よりも強く光るわけです。診断・治療前の状態把握・治療後の効果判定・経過観察など、がん診療のすべての段階で有用な情報を提供してくれます。

がんの治療として従来は、手術、放射線治療、化学療法が3本柱として用いられてきました。最近では、分子標的薬というがん細胞を狙い撃ちする薬の開発がものすごいスピードで行われています。また、数年前から免疫療法が第4の矢となってきました。これら以外に一般の方々にあまり知られていませんが、もう一本の矢として核医学治療というものがあります。PETでは診断のために光る放射能を用いますが、核医学治療ではがん細胞を体の中で叩く放射線を出すものを用います。普通の放射線治療が体の外から放射線を当てる”外照射“と言われるのに対して、核医学治療は”内照射“あるいは”内用療法“と呼ばれます。現在、甲状腺がん、悪性リンパ腫、前立腺がん骨転移に対

するものが保険診療として用いられています。また、悪性神経内分泌腫瘍(アップルコンピュータを創設したスティーブ・ジョブズさんがこのがんでなくなられました)に対するもの、悪性褐色細胞腫に対するものが企業治験として行われています。また、小児がんに対する治療は先進医療で行われています。どの治療も抗がん剤などが効かない患者さんたちに実施され、寛解が得られることも少なくありません。

現在、世界中でいろいろな種類のがんに対する核医学治療がものすごいスピードで開発されつつあります。その中で、男性で増加している前立腺がんに対する核医学治療は、海外では治験の最終段階に入っているにもかかわらず、日本では未だに実施することができない状態です。日本の遅れの原因の多くは、その複雑な法規制にあります。そのため、日本の患者さんたちに適切に治療を提供できる環境を整えるために、厚生労働省などの国の当局に要望をあげる組織として”核医学診療推進国民会議”(<http://www.ncnmt.jp/>)を2016年12月に立ち上げました。会議には、医師・研究者、企業人のみならず、患者さんたちに加わっていただいています。がんと闘うための新たな矢をしっかりと手にするために、皆さんもこの会議に加わっていただいで、一緒に声をあげていただけることを祈念いたします。



## 第17回 ペイシエント・アクティブ・フォーラム

主催：認定特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

参加費  
無料  
定員：400名

### がんのない社会をめざして

～減りつつある肝臓がん、ねらうは肺がん～

かつて日本人のがんの中でトップを占めていた胃がんだが、検診による早期発見と治療法の進歩で激減。また日本人の肝臓がんの原因の65%はC型肝炎だが、適切な治療でC型肝炎の95%以上は完治できる。結果として胃がんや肝臓がんの75歳未満の死亡率は2005年から2015年までの10年間で約16%下がった。一方、膵臓がんや肺がんは厳しい状況にある。そこで、今回は大阪国際がんセンター副院長・片山和宏氏他を講師に招いて肝臓がんを例に未だ難治性がんである肺がん克服の未来を探る。

**日時** 2019年9月28日(土)  
13:30 ~ 17:00

**会場** よみうり大手町ホール  
(東京都千代田区大手町1-7-1)

[ お問い合わせ ] .....  
認定特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ  
Tel 03-6809-1825 Fax 03-6809-1826  
E-mail info@csc-japan.org

＼ がんサポートコミュニティ公式アプリ /

**がん患者支援アプリ [キャン.]**

あなたらしさを応援します。

**CAN.**  
CANCER SUPPORT

2018. **9/2**  
アンドロイド版  
先行リリース!

**無料**



ダウンロード方法は裏表紙をご確認ください。

第9回  
リリー・オンコロジー・オン・キャンパス  
がんと生きる、わたしの物語。  
絵画×写真×絵手紙コンテスト  
コンテスト作品募集  
詳細はウェブサイトをご覧ください。  
www.locj.jp



日本イーライリリー株式会社

**SSI**

Quality of Life (人生・生活の質) の  
向上を応援します。

愛され続けて20年・アガリクス茸仙生露  
株式会社 S・S・I  
0120-680-111 (平日 9:00 ~ 17:00 ※土日・祝除く)



# 早く治ってほしいという 願いを、チカラに。

未だ適切な治療法が確立していない疾病の数は  
2万以上とも言われています。

さらに、治療は可能でも早期に診断が付きにくい、  
治療や検査が決して楽ではない、一般に理解されにくいなど、  
医療分野にはまだ満たされていないニーズがあります。

私たちバイエル薬品は、「早く治ってほしい」という  
強い思いを原動力として、

さまざまなニーズに応じていきます。

よりよい暮らしのために、これからもずっと。

Science for a better life



<http://byl.bayer.co.jp/>

バイエル薬品株式会社



## がんサポートコミュニティ公式無料アプリ CAN. がん患者支援アプリ

## アンドロイド版 ダウンロード方法



1 アンドロイドの  
Playストアを起動

2 Playストア内のQで  
「CAN.がん患者支援」  
と入力し検索

3 アプリが表示されたら  
「インストール」を押す

4 「同意する」を押す

5 「開く」を押して  
ダウンロード完了

● 会員登録については「スキップ」しても、アプリはご使用いただけます。

【注意】アプリは無料ですが、ダウンロードの際の通信費用はかかります。 対応・推奨OS:Android 4.4以上

※ Android, Google Play および Google Play ロゴは, Google LLC の商標です。

iPhone (iOS) 版のリリースについては、  
がんサポートコミュニティサイトでお知らせします。

※ iPhoneは、米国およびその他の国々で登録されたApp Inc.の商標または登録商標です。



法人サイト  
[www.csc-japan.org](http://www.csc-japan.org)

